

今月の題字



熊野第一小学校6年生
時光 菜泉さん

ミニギャラリー

熊野第二小学校 2年 伊藤 卓海
題名「花のせかいへ」



【評】 ひまわりの花が大きく堂々とかけていますね。友達や大好きな虫と、くきの中で遊んでいます。

熊野第二小学校 6年 奥田 悠矢



六年 奥田 悠矢

【評】 のびのびとしっかり書いています。筆の力強さが「希」の横画によく出ています。

町の人口と世帯数

平成18年8月31日
(前年同月比較)

人口	25,884人	(-148)
男	12,573人	(-74)
女	13,311人	(-74)
世帯数	10,116世帯	(+90)

熊野の自然 (205)

クスサン

(ヤママユガ科)



はねを開くと長さ10〜13cmほど。年1回、9〜10月頃羽化します。はねの色は灰黄色から濃赤褐色まで様々です。前ばねを開くと、後ばねの黒い大きな眼状紋が現われ敵を脅します。写真はオスです。触角が羽のようで幅広いこと分かりやすい。メスはオスを引き寄せるフェロモンを分泌し、オスは遠く離れていても触角でフェロモンをキャッチして近付きます。メスは、幼虫の食樹となる木の幹などに多数の卵を一カ所に産みつけます。卵で越冬し4月頃孵化します。初めは小さな黒い毛虫で

集団で生活します。大きくなると体長7〜8cm。背は青白色で白い長毛があり、シラガタロウと呼ばれます。横から見ると青い紋が並んでいます。非常に多種類の木の葉を食べますが、特にクリをよく食べるのでクリケムシとも言います。7月頃、枝先に繭をつくり、繭は長さ5cmほどの俵型。堅く粗い網目状で、中の蛹が透けて見えるのでスカシダワラの名があります。冬には、褐色の空まゆがよく目に留まります。

ヤママユガ科の仲間には、はねの大きな種類です。体の大きな割に短命で、成虫は口が退化して食物をとることもなく、羽化して交尾し産卵すると死んでしまいます。成虫の仕事は、子孫を残すことなのです。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子



筆匠古城園

広島筆産業株式会社

〒731-4214 広島県熊野局私書函第1号
電話：082-854-1145 FAX：082-854-1146
URL：//www.artbrush-hiroshima.com

広告

お手軽リースであっという間に電化住宅
電気温水器・エコキュート
電気クッキングヒーター
株式会社 エネルギアライフ&アクセス 特約店

あつと! @電化ショップ 地域No.1の信頼と実績

広島県安芸郡海田町稲荷町12-11 (JR海田市駅前) コーヨー ハマイ
株式会社 ハマイ ☎ 0120-555-801
広告 弊社ホームページ <http://555-801.com>

「熊野町の火災と救急」についてはP17の欄外へ掲載しています。



「広報くまの」は再生紙に「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。